



バーコード設定マニュアル

ASR-023B

AsReader® is registered trademarks of Asterisk Inc.
The contents of this manual are subject to change without notice.

変更履歴

No.	バージョン	修正内容	日付
1	1.0	新規作成	2020/05/14
2	1.1	2.4 コメントを追加	2021/09/08
3	1.2	データエンコードフォーマットを削除	2022/2/25
4	1.3	説明内容順番の調整	2022/6/17
5	1.4	デフォルトのバーコード サフィックスは CR です	2023/4/24

目 次

1 基本情報 6

- 1.1. パラメータ設定 ON/OFF 6
- 1.2. 工場出荷時設定に戻す 7
- 1.3. カスタム設定をデフォルトとして保存 9
- 1.4. カスタム設定 9

2 読取モード 10

- 2.1. トリガーモード 10
- 2.2. 連続スキャンモード 11
- 2.3. 自動検知モード 11
 - 2.3.1. 検知の安定時間 12
 - 2.3.2. 感度レベルの設定 13
- 2.4. シングルスキャンタイム 13
- 2.5. 同一バーコードの読取間隔 14
- 2.6. 同一バーコード読取間隔のクイック設定 15

3 照明及びエイミング 17

- 3.1. 照明 17
- 3.2. エイミング 18

4 出力プロンプト 21

- 4.1. 「No Read」メッセージを送信する 21
- 4.2. アルファベットの太文字・小文字転換 22

5 データ編集 24

- 5.1. コード ID 24

- 5.2. ターミネーター 25
- 5.3. プリフィックス・サフィックスを追加する 27
- 5.4. 複数のプリフィックス・サフィックスを追加する 29
- 5.5. データを非表示にする 32
 - 5.5.1. 先頭データを非表示にする 32
 - 5.5.2. 中間データを非表示にする 33
 - 5.5.3. 末尾データを非表示にする 35
- 6. バーコードタイプの有効・無効設定 37**
 - 6.1. 一次元コードをすべて有効・無効にする 37
 - 6.2. 二次元コードをすべて有効・無効にする 38
 - 6.3. UPC-A 38
 - 6.4. UPC-A 付加コード 39
 - 6.4.1. UPC-A 2桁の付加コード 39
 - 6.4.2. UPC-A 5桁の付加コード 40
 - 6.4.3. UPC-A 付加コード読取 40
 - 6.5. UPC-E 41
 - 6.6. UPC-E 付加コード 42
 - 6.6.1. UPC-E 2桁の付加コード 42
 - 6.6.2. UPC-E 5桁の付加コード 43
 - 6.6.3. UPC-E 付加コード読取 43
 - 6.7. UPC-E を UPC-A に転換する 44
 - 6.8. UPC-A を EAN-13 に転換する 45
 - 6.9. EAN-8 46
 - 6.10. EAN-8 付加コード 46
 - 6.10.1. EAN-8 2桁の付加コード 46
 - 6.10.2. EAN-8 5桁の付加コード 47
 - 6.10.3. EAN-8 付加コード読取 47
 - 6.11. EAN-13 48
 - 6.12. EAN-13 付加コード 49
 - 6.12.1. EAN-13 2桁の付加コード 49

- 6.12.2. EAN-13 5桁の付加コード 49
- 6.12.3. 付加コード読取 50
- 6.13. CODE 128 51
- 6.14. GS1-128 51
- 6.15. ISBT-128 52
- 6.16. Interleaved 2 of 5 53
 - 6.16.1. Interleaved 2 of 5 の長さを指定する 53
- 6.17. Matrix 2 of 5 54
 - 6.17.1. Matrix 2 of 5 の長さを指定する 55
 - 6.17.2. Matrix 2 of 5 チェックデジット送信 56
- 6.18. Industrial 2 of 5 56
 - 6.18.1. Industrial 2 of 5 の長さを指定する 57
- 6.19. Standard 2 of 5 58
 - 6.19.1. Standard 2 of 5 の長さを指定する 58
 - 6.19.2. Standard 2 of 5 チェックデジット送信 59
- 6.20. Code 39 60
 - 6.20.1. Code39 の長さ 60
 - 6.20.2. Code39 チェックデジット送信 61
 - 6.20.3. Code 39 のスタート・ストップシンボル送信 61
- 6.21. Code 39 Full ASCII 62
- 6.22. Code 32 62
 - 6.22.1. Code32 にプリフィックス A を追加する 63
- 6.23. Code 93 64
- 6.24. Code 11 65
 - 6.24.1. チェックビットの転送 65
- 6.25. Codabar 66
- 6.26. PLESSEY 67
- 6.27. MSI 67
 - 6.27.1. 長さの設定 68
- 6.28. GS1-Databar 68
- 6.29. ITF14 69
- 6.30. GS1 Composite Code 70
- 6.31. QR Code 71
 - 6.31.1. QR code 反転コードの読取 71

6.32. Data Matrix 72

6.32.1. Data Matrix 反転コードの読取 72

6.33. PDF 417 73

6.33.1. PDF417 反転コードの読取 74

6.34. Aztec Code 74

6.35. Maxi Code 75

6.36. Hanxin Code 76

付録Ⅰ：数字設定コード 77**付録Ⅱ：キャンセル 80****付録Ⅲ：Code ID 81****付録Ⅳ：キャラクター対照表 83**

1 基本情報

注意：本マニュアルに記載されている一部の設定（大文字・小文字の転換設定、一部のバーコードターミネーター設定など）を有効にすると、製品の取扱説明書に記載されているバーコードによる設定ができなくなる場合があります。

取扱説明書記載のバーコードにて設定を行う場合は、上述の本マニュアルの設定を無効にしてから行ってください。

1.1.パラメータ設定 ON/OFF

注意：本マニュアルによる製品の初回設定時は、下記の「パラメータ設定 ON」コードを先にスキャンしてください。



* パラメータ設定 ON



パラメータ設定 OFF

1.2.工場出荷時設定に戻す

通信モード：USB KBW

起動方法：読取ボタンを押下

ターミネーター：エンター(CR)。



工場出荷時設定に戻す

注意：上記「工場出荷時設定に戻す」設定を行うと、通常のバーコードスキャンを行

っても反応しない場合があります。その場合は、下記の4つのコードを順次にスキャンし、バーコード読取操作を可能にしてください。



TTL 232



* 9600bps



* パリティなし



*1 ストップビット

1.3.カスタム設定をデフォルトとして保存

ユーザーのカスタム設定をデフォルト設定として保存することができます。



カスタム設定をデフォルトとして保存

1.4.カスタム設定

カスタム設定をデフォルト設定として保存した後、下記のデフォルト設定をスキャンすると、設定をカスタム設定に戻すことができます。



デフォルト設定（カスタム設定）

2 読取モード

2.1.トリガーモード

トリガーモードに設定した場合、製品の読取ボタンを（30ms 間）押下すると、スキャンが開始されます。読取が成功した時、またはタイムアウトになった時、スキャンが停止されます。



トリガーモード

2.2.連続スキャンモード

連続スキャンモードに設定した場合、連続して読取を行うことができます。1 回の読取は、読取が成功した時、またはタイムアウトになった時に終了します。1 回の読取が終了したら、読取ボタンの押下がなくても自動的に次の読取が開始されます。

連続スキャンモードで読取する場合の読取の間隔は 1 秒となります。



連続スキャンモード

2.3.自動検知モード

自動検知モードでは、スキャンエンジンが周囲環境の明るさを検知し、明るさが変化する時に、読取が開始されます。読取が成功した時、またはタイムアウトになった時に読取が終了します。読取が終了してからは、前回の読取が成功したか否かに関わらず、再度周囲環境の明るさ検知に入ります。



自動検知モード

2.3.1. 検知の安定時間

環境検知開始前の安定させる時間を設定することができます。

デフォルト値：500ms。単位：100ms。範囲：0-9900ms

下記の設定コードをスキャンして検知の安定時間を設定します。

例:

200ms に設定する場合は、下記のコードをスキャンしてから、[「数字設定コード」](#)

の「0」と「2」をスキャンします。

1500ms に設定する場合は、下記のコードをスキャンしてから、[「数字設定コード」](#)

の「1」と「5」をスキャンします。



安定時間

2.3.2. 感度レベルの設定

自動検知モードの感度レベルを下記の三つのレベルから選択することができます。デ

フォルト設定：高感度



*高感度



通常感度



低感度

2.4. シングルスキャンタイム

読取1回分の持続時間を設定します。設定範囲は 0.5～25.5秒で、0.1秒単位に変更

できます。デフォルト設定は3秒になります。スキャンタイムを変更する場合は、下記のQRコードをスキャンしてから、付録の「[数字設定コード](#)」の数値を3つスキャンしてください。3桁未満の場合は、0で補います。

注意：スキャンタイムを変更する前に「2.1 トリガーモード」のトリガーモードQRコードを読み取ってください。



スキャンタイム（初期値 3s）

2.5.同一バーコードの読取間隔

バーコード読取後、一定時間内で同じバーコードの読取をしないように設定することができます。設定時間を超過すると、読取ができるようになります。

デフォルト設定：500ms、単位：100ms、範囲： 0-9900ms

この設定は連続スキャンモードと自動検知モードのみに適用します。

例：

0.5 秒に設定したい場合は、下記のバーコードをスキャンしてから、付録の「[数字設](#)

[定コード](#)」の「0」と「5」をスキャンしてください。



同一バーコードの読取間隔設定

2.6.同一バーコード読取間隔のクイック設定



読取無し



読取間隔 1s



読取間隔 3s



読取間隔 5s



読取間隔 7s



同一バーコードの再読取をしない

3 照明及びエイミング

3.1.照明

- **読取時に点灯**（初期設定）: 読取時に照明が ON になります。読取停止すると、照明が OFF します。
- **常に点灯**: 製品の電源 ON と共に照明が ON になります。
- **常に消灯**: いかなる場合も照明が ON しません。



* 読取時に点灯



常に点灯



常に消灯

3.2.エイミング

エイミングを適用することでバーコードを読み取る際に素早くフォーカスを当てる
ことができます。

下記のモードを設定することができます。

- **読取時に点灯（初期設定）**：バーコードを読み取る時のみエイミング光が照射
されます。
- **常に点灯**：電源が ON になっている間、エイミング光が照射されます。
- **常に消灯**：エイミング光が常に消灯状態です
- **点滅**：エイミング光を照射する時にエイミング光が点滅します。

- 点滅しない：エイミング光を照射する時にエイミング光が点滅しません。



*読取時に点灯



常に点灯



常に消灯



点滅



点滅しない

4 出力プロンプト

4.1. 「No Read」メッセージを送信する

読取ボタンを手離す前に、タイムアウトになるまでバーコードを読み取れなかった場合、「No Read」メッセージを送信させることができます（以降NR送信と表記する）。また、有効になっている任意のプリフィックスまたはサフィックスをこのメッセージに追加することができます。

NR送信を無効に設定した場合、バーコードを読み取れなくても「No Read」メッセージが送信されません。

注意：NR送信機能を有効にしてから、まずは正常なバーコード読取を1回行ってください。このバーコード読取が成功してから、NR送信機能が有効になります。



* NR 送信無効



NR 送信有効

4.2. アルファベットの大文字・小文字転換

読み取ったバーコードデータに英字が含まれている場合、英字部分をすべて大文字または小文字に指定することができます。例えば、バーコードデータが「ab123dE」の場合、「大文字に転換」に設定すると、読取結果表示が「AB123DE」になります。

「小文字に転換」に設定すると、表示が「abc123de」になります。

初期設定は「転換なし」です。



* 転換無し



大文字に転換



小文字に転換



大小文字反転

5 データ編集

5.1.コード ID

バーコードのタイプごとに CODE ID が指定され、CODE ID でバーコードタイプを識別することができます。

詳細は[付録Ⅲ](#)をご参照ください



* ID 送信無効



ID 送信有効

5.2.ターミネーター

読み取ったバーコードデータの末尾にターミネーターを設定することができます。

読み取ったバーコードが表示された後に、自動的に入力を確定させたり、次のフィールドに移動したりすることが可能になります。

注:以下の「TAB」、「CR CR」、「CRLF CR」のいずれかに設定した場合、製品の取扱説明書に記載されているバーコード設定が無効になります。



None



CR LF



*CR



TAB



CR CR



CR LF CR

5.3.プリフィックス・サフィックスを追加する

1. バーコードデータにプリフィックス1つとサフィックス2つまでを追加することができます。追加する場合は下記の QR コードをスキャンしてください。



プリフィックス



サフィックス 1



サフィックス 2

2. 付録Ⅳの「[キャラクター対照表](#)」を参照し、プリフィックスやサフィックスとして追加したい文字に該当する数値を付録Ⅰの「[数字設定コード](#)」から選択してスキャンしてください。

例：「A」をプリフィックスとしてスキャンデータに追加する場合、「キャラクター対照表」の「キーボードファンクションキー」項目から「A」を探し、「A」に該

当する「スキャン値」が「1065」になります。「[数字設定コード](#)」でそれぞれ「1」、「0」、「6」、「5」の順に数字コードをスキャンします。

3. 設定したプリフィックスやサフィックスの表示方法について下記から選んでスキャンしてください。



*バーコードデータのみ表示



プリフィックス表示



サフィックス 1 表示



プリフィックスとサフィックス 1 を表示



サフィックス 1 とサフィックス 2 を表示



プリフィックス、サフィックス 1 とサフィックス 2 を表示

5.4.複数のプリフィックス・サフィックスを追加する

- プリフィックス

スキャンデータに複数のプリフィックスを追加する手順は下記の通りです。

(1) 下記の「プリフィックス設定」QR コードをスキャンします。



プリフィックス設定

(2) 付録Ⅳの「[キャラクター対照表](#)」を参照し、プリフィックスとして追加したい文字

に該当する数値を付録Ⅰの「[数字設定コード](#)」から選択してスキャンしてください。

例：「A」をプリフィックスとしてスキャンデータに追加する場合、「キャラクター対照表」の「キーボードファンクションキー」項目から「A」を探し、「A」に該当する「スキャン値」が「1065」になります。「[数字設定コード](#)」でそれぞれ「1」、「0」、「6」、「5」の順に数字コードをスキャンします。

- (3) プリフィックスとして追加したい文字をすべてスキャンしてから、下記の「プリフィックス・サフィックス設定完了」QRコードをスキャンして、設定を完了させます。



プリフィックス・サフィックス設定完了

- サフィックス

スキャンデータに複数のサフィックスを追加する手順は下記の通りです。

- (1) 下記の「サフィックス設定」QRコードをスキャンします。



サフィックス設定

- (2) 上記のプリフィックス追加時と同じ手順で「キャラクター対照表」と「[数字設定コード](#)」を利用してサフィックスを追加します。必要に応じ、サフィックスに改行を

追加することもできます。（改行は同様に「キャラクター対照表」で改行に該当する 4 つの数値を確認し、「[数字設定コード](#)」でその 4 つの数値をスキャンします。）

- (3) サフィックスとして追加したい文字をすべてスキャンしてから、下記の「プリフィックス・サフィックス設定完了」QR コードをスキャンして、設定を完了させます。



プリフィックス・サフィックス設定完了

- 複数のプリフィックス・サフィックスを有効にする



*スキャンデータのみを表示



複数のサフィックスを表示



複数のプリフィックスを表示



複数のプリフィックスとサフィックスを表示

5.5. データを非表示にする

5.5.1. 先頭データを非表示にする

スキャンデータの先頭データを非表示にします。非表示にするデータの長さを設定することができます。設定したデータの長さがバーコードデータの長さを超えた場合、バーコードデータそのものが非表示になります。



*無効



有効

非表示データの長さを設定する

非表示にする先頭データの桁数を設定します。設定範囲は 1-255 となります。下記の QR コードをスキャンしてから付録の「[数字設定コード](#)」をスキャンします。例：16 桁のキャラクターを非表示にする場合、順次に 0、1、6 をスキャンします。



先頭データを非表示

5.5.2. 中間データを非表示にする

スキャンデータの間中部分を非表示にします。開始位置とデータの長さを設定することができます。設定した開始位置がバーコードデータの長さを超えた場合、スキャンデータそのものの非表示設定が無効になります。設定したデータ長さが残りのバーコードデータの長さを超えた場合、開始位置以降のデータが表示されなくなります。



*無効



有効

中間データの開始位置を設定する

非表示にする中間データの開始位置を設定します。設定範囲は 1-255 となります。

下記の QR コードをスキャンしてから「[数字設定コード](#)」をスキャンします。例：3

番目のキャラクターの後のデータを非表示にする場合、順次に「[数字設定コード](#)」の

0、0、3 をスキャンします。



中間データの開始位置

中間データの長さを設定する

非表示にする中間データの長さを設定します。設定範囲は 1-255 となります。下記の QR コードをスキャンしてから付録の「[数字設定コード](#)」をスキャンします。例：16 桁のキャラクターを非表示にする場合、順次に 0、1、6 をスキャンします。



中間データの長さ

5.5.3. 末尾データを非表示にする

スキャンデータの末尾データを非表示にします。非表示にするデータの長さを設定することができます。設定したデータの長さがバーコードデータの長さを超えた場合、バーコードデータそのものが非表示になります。



無効



有効

末尾データの長さを設定する

非表示にする末尾データの長さを設定します。設定範囲は 1-255 となります。下記

の QR コードをスキャンしてから付録の「[数字設定コード](#)」をスキャンします。例：

16 桁のキャラクターを非表示にする場合、順次に 0、1、6 をスキャンします。



末尾データの長さ

6 バーコードタイプの有効・無効設定

6.1. 一次元コードをすべて有効・無効にする



有効



*無効

6.2. 二次元コードをすべて有効・無効にする



有効



*無効

6.3. UPC-A



*有効



無効



* UPC-A チェックビットを送信しない



UPC-A チェックビットを送信する

6.4.UPC-A 付加コード

6.4.1. UPC-A 2桁の付加コード



有効



*無効

6.4.2. UPC-A 5桁の付加コード



有効



*無効

6.4.3. UPC-A 付加コード読取

付加コードがある場合は、付加コードも読み取って表示させる



*有効



無効

6.5.UPC-E



*有効



無効



UPC-E チェックビットを送信しない



* UPC-E チェックビットを送信する

6.6.UPC-E 付加コード

6.6.1. UPC-E 2桁の付加コード



有効



*無効

6.6.2. UPC-E 5桁の付加コード



有効



*無効

6.6.3. UPC-E 付加コード読取

付加コードがある場合は、付加コードも読み取って表示させる。



有効



*無効

6.7.UPC-E を UPC-A に転換する

この機能を有効にすると、UPC-E コードが UPC-A コードとして認識されます。足りない分の桁数は 0 で補われ、通常は末尾 1 桁の前に 0 が 4 つ補足されます。また、読み取ったデータにシステムビットとチェックビットも含まれます



有効



*無効

6.8.UPC-A を EAN-13 に転換する

この機能を有効にすると、UPC-A のバーコードデータにシステムビットが含まれます。無効にする場合は、システムビットが表示されません。



有効



*無効

6.9.EAN-8



*有効



無効

6.10. EAN-8 付加コード

6.10.1. EAN-8 2桁の付加コード



有効



*無効

6.10.2. EAN-8 5桁の付加コード



有効



*無効

6.10.3. EAN-8 付加コード読取

付加コードがある場合は、付加コードも読み取って表示させる。



有効



*無効

6.11. EAN-13



*有効



無効

6.12. EAN-13 付加コード

6.12.1. EAN-13 2桁の付加コード



有効



*無効

6.12.2. EAN-13 5桁の付加コード



有効



*無効

6.12.3. 付加コード読取

付加コードがある場合は、付加コードも読み取って表示させる。



有効



*無効

6.13. CODE 128



*有効



無効

6.14. GS1-128



*有効



無効

6.15. ISBT-128



*有効



無効

6.16. Interleaved 2 of 5



*有効



無効

6.16.1. Interleaved 2 of 5 の長さを指定する

読み取るInterleaved 2 of 5コードの長さを指定することができます。

例：読み取るInterleaved 2 of 5コードの長さを4～20桁に設定する場合。

下記のデータ長さ指定コードをスキャンしてから、「[数字設定コード](#)」の0、4、2、0を順次にスキャンします。一度スキャンしたコードを変更またはキャンセルする場合は、付録の「Cancel」コードをスキャンしてください。



Interleaved 2 of 5 データ長さ指定



Interleaved 2 of 5 データ長さ指定しない

6.17. Matrix 2 of 5



有効



*無効

6.17.1. Matrix 2 of 5 の長さを指定する

読み取るMatrix 2 of 5コードの長さを指定することができます。

例：読み取るMatrix 2 of 5コードの長さを4～20桁に設定する場合。

下記のデータ長さ指定コードをスキャンしてから、「[数字設定コード](#)」の0、4、2、0を順次にスキャンします。一度スキャンしたコードを変更またはキャンセルする場合は、付録の「Cancel」コードをスキャンしてください。



Matrix 2 of 5 データ長さ指定



Matrix 2 of 5 データ長さ指定しない

6.17.2. Matrix 2 of 5 チェックデジット送信



有効



*無効

6.18. Industrial 2 of 5



有効



*無効

6.18.1. Industrial 2 of 5 の長さを指定する

読み取るIndustrial 2 of 5コードの長さを指定することができます。

例：読み取るIndustrial 2 of 5コードの長さを4～20桁に設定する場合。

下記のデータ長さ指定コードをスキャンしてから、「[数字設定コード](#)」の0、4、2、0を順次にスキャンします。一度スキャンしたコードを変更またはキャンセルする場合は、付録の「Cancel」コードをスキャンしてください。



Industrial 2 of 5 データ長さ指定



Industrial 2 of 5 データ長さ指定しない

6.19. Standard 2 of 5



有効



*無効

6.19.1. Standard 2 of 5 の長さを指定する

読み取るStandard 2 of 5コードの長さを指定することができます。

例：読み取るStandard 2 of 5コードの長さを4～20桁に設定する場合。

下記のデータ長さ指定コードをスキャンしてから、「[数字設定コード](#)」の0、4、2、0を順次にスキャンします。一度スキャンしたコードを変更またはキャンセルする場合は、付録の「Cancel」コードをスキャンしてください。



Standard 2 of 5 データ長さ指定



Standard 2 of 5 データ長さ指定しない

6.19.2. Standard 2 of 5 チェックデジット送信



有効



*無効

6.20. Code 39



*有効



無効

6.20.1. Code39 の長さ



code39 任意の長さ

6.20.2. Code39 チェックデジット送信



チェックデジットを送信



*チェックデジットを送信しない

6.20.3. Code 39 のスタート・ストップシンボル送信



*無効



有効

6.21. Code 39 Full ASCII



有効



*無効

6.22. Code 32

初期設定ではプリフィックスの A が表示されない設定になっています。プリフィックスの A を表示させるには「Code32 にプリフィックス A を追加する」設定を有効にしてください。また、Code 32 の読取を無効に設定しても、Code39 の設定が有

効の場合、Code32 は Code39 として認識され、正しくデータが表示されなくなります。そのため、Code32 の読取を完全に無効にするには、Code 39 の読取も同時に無効にする必要があります。



有効



*無効

6.22.1. Code32 にプリフィックス A を追加する



有効



*無効

6.23. Code 93



有効



*無効

6.24. Code 11



有効



*無効

6.24.1. チェックビットの転送



有効



*無効

6.25. Codabar



有効



*無効



スタートとストップシンボルを表示しない



*スタートとストップシンボルを表示する

6.26. PLESSEY



有効



*無効

6.27. MSI



有効



*無効

6.27.1. 長さの設定



任意の長さ

6.28. GS1-Databar



有効



*無効

6.29. ITF14



有効



*無効



チェックデジットを送信する



* チェックデジットを送信しない

6.30. GS1 Composite Code

GS1 コンポジットコードを有効にする前に、6.1 及び 6.2 項の 1 次元、2 次元コードの読取をすべて有効にしてください。1 次元、2 次元コードの読取を有効にしていな
い場合、GS1 コンポジットコードの設定が無効になる可能性があります。



有効



*無効

6.31. QR Code



*有効



無効

6.31.1. QR code 反転コードの読取



*通常コードのみ



通常及び反転コード

6.32. Data Matrix



*有効



無効

6.32.1. Data Matrix 反転コードの読取



*通常コードのみ



反転コードのみ



通常及び反転コード

6.33. PDF 417



*有効



無効

6.33.1. PDF417 反転コードの読取



*通常コードのみ



反転コードのみ



通常及び反転コード

6.34. Aztec Code



有効



*無効

6.35. Maxi Code



有効



*無効

6.36. Hanxin Code



有効



*無効

付録I：数字設定コード

数値による設定が必要な項目に関しては、下記の数値コードをスキャンしてください。



0



1



2



3



4



5



6



7



8



付録Ⅱ：キャンセル

直前にスキャンした数値を変更する場合またはキャンセルする場合は、下記のコードを読み取ってください。



Cancel

付録Ⅲ : Code ID

コードキャラクター	コードタイプ
A	UPC-A, UPC-E, EAN-8, EAN-13
B	Code 39, Code 32
C	Codabar
D	Code 128, ISBT 128
E	Code 93
F	Interleaved 2 of 5/ITF, ITF14
G	Industrial 2 of 5, Standard 2 of 5
H	CODE11
J	MSI, MSI/Plessey
K	UCC/EAN-128/GS1-128
L	Bookland EAN/ISBN, ISSN
R	GS1 DataBar-14, GS1 DataBar Limited, GS1 DataBar Expanded, RSS
V	Matrix 2 of 5
r	PDF417

u	DataMatrix (DM)
q	QR
a	Aztec Code
x	Maxi Code
c	HanXin

付録Ⅳ：キャラクター対照表

スキャン値	16進数の値	キーボード ファクションキー	キーボード ctrl組み合わせキー
1000	00h	Null	CTRL 2
1001	01h	Keypad Enter	CTRL A
1002	02h	Caps lock	CTRL B
1003	03h	Right Arrow	CTRL C
1004	04h	Up Arrow	CTRL D
1005	05h	Null	CTRL E
1006	06h	Null	CTRL F
1007	07h	Enter	CTRL G
1008	08h	Left Arrow	CTRL H
1009	09h	Horizontal Tab	CTRL I
1010	0Ah	Down Arrow	CTRL J
1011	0Bh	Vertical Tab	CTRL K
1012	0Ch	Backspace	CTRL L

1013	0Dh	Enter	CTRL M
1014	0Eh	Insert	CTRL N
1015	0Fh	Esc	CTRL O
1016	10h	F11	CTRL P
1017	11h	Home	CTRL Q
1018	12h	Print Screen	CTRL R
1019	13h	Delete	CTRL S
1020	14h	Tab + shift	CTRL T
1021	15h	F12	CTRL U
1022	16h	F1	CTRL V
1023	17h	F2	CTRL W
1024	18h	F3	CTRL X
1025	19h	F4	CTRL Y
1026	1Ah	F5	CTRL Z
1027	1Bh	F6	CTRL [
1028	1Ch	F7	CTRL \
1029	1Dh	F8	CTRL]
1030	1Eh	F9	CTRL 6
1031	1Fh	F10	CTRL -

1032	20h	Space	Space
1033	21h	/A	!
1034	22h	/B	'
1035	23h	/C	#
1036	24h	/D	\$
1037	25h	/E	%
1038	26h	/F	&
1039	27h	/G	'
1040	28h	/H	(
1041	29h	/I	)
1042	2Ah	/J	*
1043	2Bh	/K	+
1044	2Ch	/L	,
1045	2Dh	-	-
1046	2Eh	.	.
1047	2Fh	/	/
1048	30h	0	0
1049	31h	1	1
1050	32h	2	2

1051	33h	3	3
1052	34h	4	4
1053	35h	5	5
1054	36h	6	6
1055	37h	7	7
1056	38h	8	8
1057	39h	9	9
1058	3Ah	/Z	:
1059	3Bh	%F	;
1060	3Ch	%G	<
1061	3Dh	%H	=
1062	3Eh	%I	>
1063	3Fh	%J	?
1064	40h	%V	@
1065	41h	A	A
1066	42h	B	B
1067	43h	C	C
1068	44h	D	D
1069	45h	E	E

1070	46h	F	F
1071	47h	G	G
1072	48h	H	H
1073	49h	I	I
1074	4Ah	J	J
1075	4Bh	K	K
1076	4Ch	L	L
1077	4Dh	M	M
1078	4Eh	N	N
1079	4Fh	O	O
1080	50h	P	P
1081	51h	Q	Q
1082	52h	R	R
1083	53h	S	S
1084	54h	T	T
1085	55h	U	U
1086	56h	V	V
1087	57h	W	W
1088	58h	X	X

1089	59h	Y	Y
1090	5Ah	Z	Z
1091	5Bh	%K	[
1092	5Ch	%L	\
1093	5Dh	%M	]
1094	5Eh	%N	^
1095	5Fh	%O	_
1096	60h	%W	'
1097	61h	+A	a
1098	62h	+B	b
1099	63h	+C	c
1100	64h	+D	d
1101	65h	+E	e
1102	66h	+F	f
1103	67h	+G	g
1104	68h	+H	h
1105	69h	+I	i
1106	6Ah	+J	j
1107	6Bh	+K	k

1108	6Ch	+L	l
1109	6Dh	+M	m
1110	6Eh	+N	n
1111	6Fh	+O	o
1112	70h	+P	p
1113	71h	+Q	q
1114	72h	+R	r
1115	73h	+S	s
1116	74h	+T	t
1117	75h	+U	u
1118	76h	+V	v
1119	77h	+W	w
1120	78h	+X	x
1121	79h	+Y	y
1122	7Ah	+Z	z
1123	7Bh	%P	{
1124	7Ch	%Q	
1125	7Dh	%R	}
1126	7Eh	%S	~

1127	7Fh		Undefined
------	-----	--	-----------